生野区将来ビジョン

2023-2026

素案

「居場所」と「持ち場」のあるまちへ

~「暮らしても遊んでも働いても面白い」異和共生のまちづくり~

生野区役所

目 次

第 章 生野区と将来ビジョン	ı
(I)区の概況	ı
(2)区の特徴	2
(3)生野区をとりまく情勢	
(4)生野区の将来ビジョン	
(5)取組期間	7
第2章 まちづくりの基本理念と将来像	8
(Ⅰ)基本理念としての「異和共生」	
(2)まちづくり≒家づくり	
(3)誰もが居場所と持ち場のあるまち	
(4)めざす将来像	
(5)めざすまちに向けた「公民地域連携」の手法	
第3章 施策展開の方向性 (**)	15
I 安全・安心を身近に感じて暮らせるまち	15
(I)災害に備えて	
(2)犯罪・事故の防止に向けて	
(3)ずっと安心して暮らせる環境づくり	
(4) ひとりも取りこぼさない支援を	
(5)すべての人々の人権を互いに尊重し認め合える環境づくり	
Ⅱにぎわいといろどり豊かな魅力のあるまち	
(I) リノベーション×まちづくり	
(2)生野区シティプロモーション	
Ⅲ 子育てにやさしく、教育につよいまち	39
(1)安心してこどもを産み育てることができる環境づくり	
(2)未来を生き抜く力の育成	42
族 /	
第4章 施策展開の推進にあたって	47
I 地域活動協議会による自律的な地域運営の促進	
(I)地域の実情に即したきめ細かな支援	
(2) 地活協の意義・求められる機能の理解促進	
(3)区の状況に応じた支援の実施	
Ⅱ 区役所業務の更なる改善の推進	48
(※) 各項目では、それぞれの施策につながるSDGsの 17 の目標を掲載しています。 (SDGsの詳細は、巻末を参照)	

第 | 章 生野区と将来ビジョン

(1)区の概況

生野区は大阪市の東南部に位置し、東は東大阪市に、北は近畿日本鉄道を区界に東成区に、西は JR 環状線を区界に天王寺区に、南は国道 25 号線および平野川を区界に阿倍野区、東住吉区、平野区にそれぞれ接しています。面積は 8.38 平方 km あり、区の南北に今里筋と内環状線、東西に勝山通が通っています。

万葉の時代からの歴史や伝承が残されている 土地で、区名の「生野」は、聖徳太子ゆかりの 「生野長者」にちなんで付けられています。

区役所東側には、定かではないものの大小橋命(おおおばせのみこと)の廟所(びょうしょ)とも伝承される御勝山古墳があり、慶長 19年(1614)の大坂冬の陣では、ここに徳川秀忠が布陣し、夏の陣で勝利したため、当時の地名「岡山」を「御勝山」と称するようになったといわれています。



だんじり・地蔵盆など地域伝統行事が大切に守られるなど、下町の良さを残した人情味豊かなまちです。



御勝山古墳



「つるのはし」の史跡

(2)区の特徴

①グローバルなまち

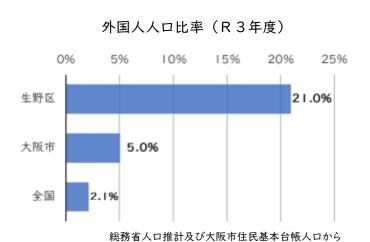
生野区民の5人にⅠ人が外国人住民であり、国籍・地域は約60にのぼります。 また、外国人人□割合は、令和2年に実施された国勢調査では、都市部 No.I でした。

外国人住民のうち、8割近くが韓国・朝鮮籍の方ですが、近年ではベトナム、ネパール、インドネシアなどの留学生や技能実習生が増加しています。さらに日本最大規模の大阪コリアタウンには、年間約 200 万もの人々が訪れます。このように国際色豊かな"グローバルなまち"と言えます。

区内の外国人住民の国籍・地域別内訳 (R4年3月末時点)

	外国人住民人口	割合
韓国·朝鮮	19,619人	74.7%
ベトナム	2,711人	10.3%
中国	2,652人	10.1%
ネパール	266人	1.0%
台湾	211人	0.8%
フィリピン	193人	0.7%
その他	797人	3.0%
総計	26,256人	100.0%

大阪市住民基本台帳人口から



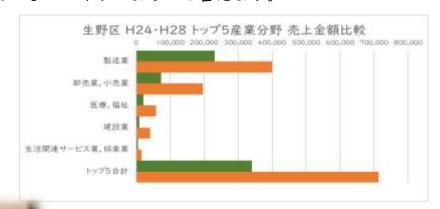




大阪コリアタウンの街並み

②ものづくりのまち

また、区内の製造業事業所数は、1,962 と大阪市内でもっとも多く(平成28年度時点)、約1万4千人の方が従事しています。さらに、オンリーワンの高い技術力を有する事業者もあり、伝統工芸品から最新技術まで、日本の発展を支えてきた"ものづくりのまち"と言えます。





	H24年(2012)	H28年(2016)	
産業分類	売上金額(百万円)	売上金額(百万円)	シェア
製造業	231,696	400,242	53.0%
卸売業,小売業	73,019	196,138	26.0%
医療,福祉	21,007	59,068	7.8%
建設業	9,042	41,110	5.4%
生活関連サービス業,娯楽業	5,964	16,078	2.1%
トップ5合計	340,728	712,636	94.4%

357,703

03 754,814 工業統計調査・経済センサスから

③住民同士の助け合いがあるまち

区内には、地域団体による活動やボランティアグループによる活動が活発であり、区内に事務所をかまえる NPO の登録数は 50 を超えており、"住民同士の助け合いがあるまち"と言えます。

全産業合計





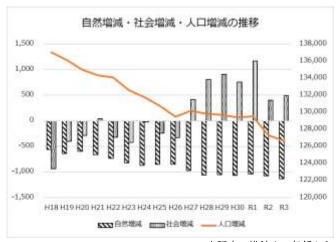
¹ Non-Profit Organization 又は Not-for-Profit Organization (非営利団体)の略。 さまざまな社会貢献活動を行い、団体の構成員に対し、収益を分配することを目的としない団体の総称。

(3) 生野区をとりまく情勢

① 区の人口の推移と予測

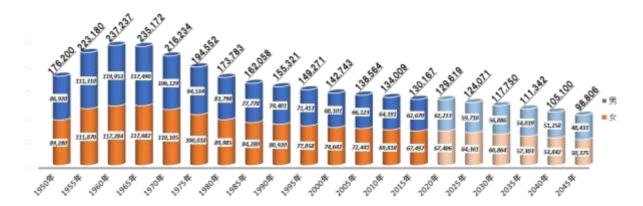
生野区の人口は、この 40 年間(1975 年~2015 年)において、一貫して減少を続けている中、今後も減少傾向が続くと見込まれています。

自然増減は、近年、死亡者数が 出生者を上回り、減少し続けてい る一方で、社会増減は、平成 27 年(2015年)以降、転入者数が 転出者数を上回り、増加傾向に転 じています。ただし、社会増加に 比べ自然減少が多いため人口は 減少傾向が続いています。



大阪市の推計人口年報から

今後の人口予測では、令和 27 年(2045 年)にはおよそ 9.8 万人にまで減少することが見込まれており、平成 27 年(2015 年)の約 13.0 万人と比較して 30 年間の増減率は-24.1% と 24 区中 5 番目の減少率となっています。

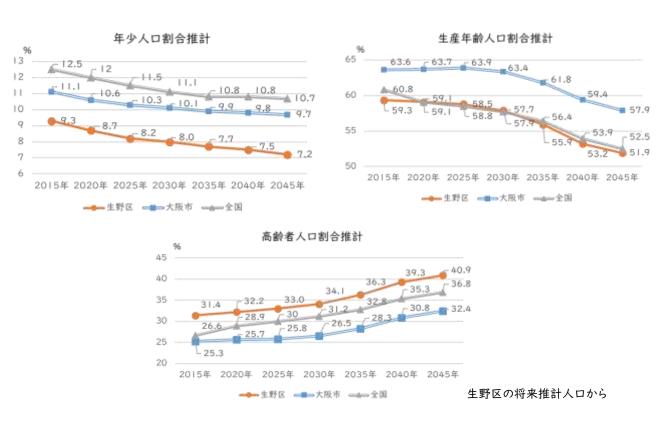


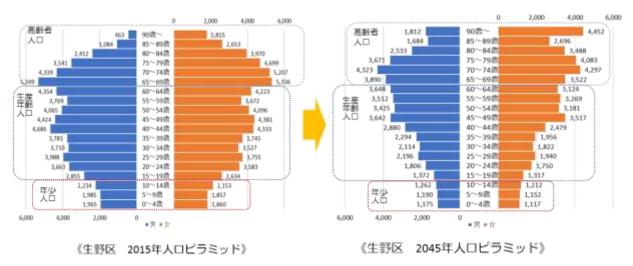
		2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
	総人口(人)	130,167	129,619	124,071	117,750	111,342	105,100	98,806
Ι.	総人口指数 (2015年 = 100)	100.0	99.6	95.3	90.5	85.5	80.7	75.9
	男性(人)	62,670	62,213	59,710	56,886	54,039	51,258	48,431
	女性(人)	67,497	67,406	64,361	60,864	57,303	53,842	50,375
	年少人口(人)	12,053	11,317	10,222	9,399	8,605	7,898	7,108
	(構成比:%)	9.3	8.7	8.2	8.0	7.7	7.5	7.2
П	生産年齢人口(人)	77,244	76,584	72,940	68,166	62,284	55,945	51,246
	(構成比:%)	59.3	59.1	58.8	57.9	55.9	53.2	51.9
	高齢者人口(人)	40,869	41,719	40,909	40,185	40,454	41,257	40,452
	(構成比:%)	31.4	32.2	33.0	34.1	36.3	39.3	40.9

生野区の将来推計人口から

② 年齢3区分別構成割合の推移と予測

年齢3区分別(0~14歳・15~64歳・65歳以上)の構成割合については、 少子・高齢化による年少人口(0~14歳)と生産年齢人口(15~64歳)の 割合が減少することにより、65歳以上の高齢者人口の割合が増加し続け、 令和27年(2045年)には、大阪市全体で約32.4%、生野区では約40.9% が高齢者人口になることが見込まれています。





国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」及び大阪市(生野区)の将来推計人口から

また、令和 27 年(2045 年)時点の推計では、男女とも 0~4 歳から 70 歳代前半までの各階級で減少し、10 歳代後半から 40 歳代前半および 60 歳代後半は男女とも減少が著しいと予測されています。

そのため、区民の年少人口の割合は 7.2%とかなり低く、24 区中 23 番目と予測されています。同じく生産年齢人口の割合も 51.9%で、24 区中 21 番目と予測される一方で、高齢者人口の割合は 40.9%と高く、24 区中 3 番目と予測されています。

総人口			
98.806 人 ※市全体の 4.0%	年少人口 7.108 人	生産年齢人口 51.246人	高齢者人口 40.452人
12 #目(6)/24区	19 #目(12) /24区	16 番目(7)/24区	6 書目(6) / 24 区
2015⇒2045 増減率 -24.1%	全区民のうち 15 歳未満の割合 7.2%	全区民のうち 15~64歳の割合 51.9%	全区民のうち 65歳以上の割合 40.9%
20 #目/24区	23 番目(20) /24区	21 #目(22)/24区	3 書目(2) /24 区
■2045 年の大阪市	総人口: 2,497,668	人	
增減率: -7.2%	15 歳未満: 9.7%	15~64歳:57.9%	65 歳以上: 32.4%

生野の将来推計人口から

このように少子高齢化・人口減少が進む中、公共が担う課題はますます複雑で多岐にわたり、大阪市人口ビジョンでも「経済」「市民生活、医療・福祉」「まちづくり」の各分野で次のように課題が想定されています。

経済	市民生活、医療·福祉	まちづくり
・消費市場の規模縮小 ・働き手の減少 ・高度な専門的人材、 技術的人材の不足 ・地域経済の弱体化 ・高齢者向け市場の拡大 など	・高齢単独世帯の増加 ・交通弱者、買物弱者、 災害弱者の増加 ・医療・介護需要の増大 ・社会保障費の増大 ・現役世代の負担増 ・地域コミュニティの 弱体化 など	・利用者の減少や高齢化などインフラ・住宅需要の変化 ・空き家・遊休地の増加など

大阪市人口ビジョンから

現状の問題と課題認識だけでは、目の前の解決にとどまってしまい、この 先起こりうる問題、そして課題に対応できなくなることから、将来に起こり うる問題・課題を見据えて、未来を意識しながら、まちづくりを考えていく ことが大切です。

(4) 生野区将来ビジョン

生野区将来ビジョンとは、生野区という大阪市における行政区の長である区長が、自律した自治体型の区政運営において、区民のみなさんとともに区内の基礎自治行政を総合的に進めていくうえで、生野区のめざすべき将来像(ビジョン)を示し、その将来像の実現のために、区役所として基本的な方針を定め、そのための施策の方向性を体系立てたものです。

ビジョンの実現に向けての施策を進めるにあたり、行政として限られた資源(予算・人員・時間等)を使って最大限の効果をあげるため、区民のニーズを的確に把握して施策を企画立案し(Plan)、施策を適正に実施し(Do)、実施状況を把握・評価し(Check)、評価を踏まえて取組を効果的に見直す(Action)という、いわゆるPDCAサイクルの考え方のもとで、具体的には毎年度策定される区の運営方針等により、ビジョンの実現に向けて取り組んでいきます。

(5) 取組期間

この将来ビジョンの取組期間は、令和5年度(2023年度)から令和8年度(2026年度)までの4年間とします。

なお、取組期間中においても、社会経済情勢の変化や施策の進捗状況等を鑑み て、必要に応じて内容を見直すことも可能とします。

生野区マスコットキャラクター いくみん®

広報いくの 100 号 (平成 16 年 10 月号) 記念企画で誕生しました。

区の花「紫陽花(あじさい)」をモチーフにデザインされており、 愛称の「いくみん」は「生野区民」を表しています。

かわいらしい紫陽花(あじさい)の妖精(ようせい)で、区内 のあちこちで活躍中です。

